

施策マネジメントシート ～令和2年度の振り返りから令和3年度の取組へ～

①計画⇒実施（Plan⇒Do） (5月中に記入)

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野	しごと分野	担当課		農林水産課			
	政策分野	地域産業	課長名		岩下 栄一			
	施策	9 林業の振興		重点施策の該当	R2	－	R3	－
施策の目的	対象	林業者、山林所有者		意図	所得を増やす 山林資源を保全・活用する			

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和1年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標値
林業総生産額(千円)	76,021	76,856	78,130	81,023	84,325 (95,000)	100,000
間伐面積(ha)	66.4	105.7	55.4	105.1	47.7 (120.0)	120.0

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		令和1年度実績		令和2年度実績		令和3年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
62.1	12.4	70.6	12.0	59.1	12.2	63.1	10.1		
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
54.2	-7.9	66.2	-13.3	52.8	-6.0	55.9	-13.0		

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連 戦略 No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度目標値
森林環境整備		間伐面積(ha)	66.4	105.7	80.0	105.0	47.7 (120)	120.0
森林環境整備		治山事案件数(件)	4	3	1	2	2 (3)	3
森林環境整備		緑化保全活動件数(件)	5	5	5	5	5 (5)	5
流通加工販売体制の整備 (林業)	1-1、1-2、2-3、14-37	木材等島外出荷量(m³)	9,654	10,722	12,589	12,991	13,782 (11,500)	12,000
流通加工販売体制の整備 (林業)		地元材の利用率(%)	19	20	20	17	15 (20)	20
流通加工販売体制の整備 (林業)		特用林産物粗生産額(千円)	33,376	35,456	28,058	31,687	37,448 (35,000)	35,000
多様な担い手育成(林業)	2-4	年間の林業就業者数(人)	42	42	29	29	29 (55)	55

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
・整備適齢期に達した市有林が増えてきたことから、管内林業事業体に施業を委託することで、市有林の間伐を計画的に実施している。 ・林産品の海上輸送費負担がネックとなり島外出荷が伸びなかったため、地元林材関係者からの要望により、海上輸送費の一部を助成し、負担軽減によって島外出荷促進を図っている。また昨年度より、原木の島外需要(用材・フェンス材)が高まってきている。 ・新規就業者がなかなか定着しないケースもあることから対策が必要となってきた。 ・財務の健全化及び経営改善に繋げるため、短期資金から長期資金への変更について、森林組合からの要望が出された。	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	・市有林の間伐を計画的に実施できた。 ・林産品の島外出荷促進が図られた。 ・新規での林業就業者は出てきている。 ・森林組合においては、資金貸付により森林整備事業を進めることができた。
現状・課題	・国土調査(地籍調査)未完了地区の施業が困難である。 ・素材生産量、船舶・港湾調整等の事情で、移出量の変動が発生する。 ・新規就業者が参入しても、中途退職者が生じ、なかなか人員増に結びつかない。 ・森林組合は、依然として累積負債が多く、当面は支援が必要な状況である。 ・森林組合から財務の安定化を図るため、長期での資金貸付の要望がある。

施策マネジメントシート ～令和2年度の振り返りから令和3年度の実行へ～

今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
継続・現状維持	・市有林整備については、境界が明確化している団地から順次進めていく。 ・林産品(木材チップ、製材、原木)の海上輸送費の支援を継続し、安定出荷が図られるようにする。 ・林業事業者の定着に繋がる支援を行う。 ・種子島森林組合経営改善のため、短期貸付(1年)から長期貸付(10年)に変更することで財務の健全化に繋げる。まずは単年度黒字に向けて、事業収支状況を毎月報告してもらい、チェックをしていく。 ・森林の多面的機能が発揮できる環境づくりを行う。 ・みどり基金活動をもとに緑化保全に努める。

②-2 政策部会による振り返り(Check) (6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
継続・現状維持	【産業振興部会】 ○施策担当課の記載する方向性のとおり。